

露地栽培で5～6月に採花可能な花き品目

福島県農業総合センター 作物園芸部花き科

1 部門名

花き - その他 - 作型・栽培型

2 担当者

石郷岡 典子・安斎 正典

3 要旨

露地栽培で春夏期(5～6月)に採花可能な花き品目を検索し、17品目について、秋定植または春定植による採花時期および収量等を明らかにし、適する品目を選定した。

- (1) すべての品目で、秋定植または春定植により目標とする5～6月に採花できた(表1、2)。但し、モナルダ・ディディマ、ブルーレースフラワーおよびドイツアザミ(春定植)は採花が7月上旬にまたがった。
- (2) 単位面積あたりの収量が多い品目は、アグロステンマ、シレネ・ブルガリス、セントウレア・シアヌス、ダイアンサスおよびリナリア・プルプレアである。但し、シレネ・ブルガリスとセントウレア・シアヌスは、規格外が多いため、やや効率が悪かった。
- (3) 収量は少ないが、商品花率が高く効率の良い品目は、ドイツアザミ、モナルダ・ディディマ、セントウレア・ソーベオレンスおよびブルーレースフラワーであった。
- (4) ドイツアザミは、収量の点から春定植より秋定植が良いと考えられた。
- (5) 露地栽培で5～6月採花に適する品目は、秋定植ではアグロステンマ、カンパニュラ・パーシシフォリア、シレネ・ブルガリス、セントウレア・シアヌス、ダイアンサス、ドイツアザミ、モナルダ・ディディマ、リナリア・プルプレアおよびラクスパ、春定植ではセントウレア・ソーベオレンス、ブルーレースフラワーおよびゴデチャであった。但し、モナルダ・ディディマおよびブルーレースフラワーは、採花期が7月上旬にまたがる可能性が高い。

表1 秋定植による結果

年度	品目	栽植密度 (cm)	播種日	定植日	採花本数 (本/m ²)	商品花率 (%)	判定			総合判定
							収量性	商品花率	その他	
H19	アグロステンマ	30×30	19.9.5		171.1	70.0				総合判定
	カンパニュラ・パーシシフォリア	40×20	19.6.5		79.2	66.3				
	シレネ・ブルガリス	20×20	19.9.5		183.8	45.2		×		
	セントウレア・シアヌス	40×20	19.9.5	19.10.4	226.9	23.2		×		
	ダイアンサス	20×20	19.9.5		277.5	71.2				
	ドイツアザミ	30×30	19.9.5		35.2	100.0	×			
	ペロニカ	30×15	19.6.5		26.7	18.4	×	×	×	
	モナルダ・ディディマ	40×40	19.6.5		35.0	99.5	×			
	デルフィニウム・シネンシス	15×15		19.9.5 19.10.16	12.1	10.0	×	×	×	
	リナリア・プルプレア	30×30			133.7	68.5				
	ラクスパ	30×30	19.10.3	19.11.15	78.5	91.6				

採花本数/m²は、作付け面積をほ場全体の60%として計算した。
 商品花率(%)は、切り花長50cm、切り花重5g以上のものを商品として計算した。
 判定基準：
 収量性・採花本数(本/m²)が、○：100以上、△：50以上、×：50未満
 商品花率・商品花率(%)が、○：80以上、△：50以上、×：50未満
 その他・栽培中の病害虫の発生程度や切り花の扱いやすさ、市場での価格など
 総合判定・○：2つ以上、×：×が2つ以上、△：それ以外

表2 春定植による結果

年度	品目	栽植密度 (cm)	播種日	定植日	採花本数 (本/m ²)	商品花率 (%)	判定			総合判定
							収量性	商品花率	その他	
H18	セントウレア・ソーベオレンス	40×20			31.8	80.4	×			総合判定
	セントウレア・モスカータ	40×20	19.2.13	19.4.12	2.7	23.7	×	×	×	
	ブルーレースフラワー	12×12			9.9	98.6	×			
	ドイツアザミ	30×30			14.5	100.0	×			
H19	ギリヤ	15×15			30.7	13.9	×	×	×	
	ゴデチャ	30×15	20.2.14	20.4.3	60.0	37.7		×		
	デルフィニウム・ベラドンナ	15×15			20.7	44.4	×	×	×	

商品花率は、H18は切り花長50cm以上、H19は切り花長50cm、切り花重5g以上のものを商品として計算した。
 上記以外は表1に準ずる。

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成20年度福島県農業総合センター試験成績概要(2008)